

学校図書館支援だより

令和4年3月8日(火)第8号

益田市教育委員会 Tel31-0445 Fax24-1380



今年度の学校図書館活用教育研究事業の取組について



今年度中西小学校が本事業に取り組みました。1月末に今年2回目の公開授業をされる予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、臨時休業となり、外部への公開が難しくなりました。校内での授業後、その授業について情報提供をいただきましたので、紹介します。

◇5学年 理科「人のたんじょう」◇

□胎児の成長の過程や母体内での様子、栄養の送り方の3つの観点から児童が課題を設定し、グループに分かれて図書資料や教科書を中心に調べ、同じ課題を調べた児童同士で共有しあい理解を深めました。

□本時では、調べた内容を他のグループの児童に伝え、調べたことを共有し、さらに人とめだかの発生の差異についてまとめることで生き物の発生の仕方について理解を深めました。

☆事前に設定した課題に対して、ひとり一人が予想を立てた上で課題解決学習に向かったため、意欲的に調べて発表できました。

☆調べてまとめたことをタブレットや図書の図を見せながらグループの児童に伝え合うことができました。

【授業をされた先生・学校司書さんより】

○知識の個人差が大きかったため、導入にじっくり時間をかけ、知識を共有したり、自分が生まれた時の体重を体感する活動を取り入れたりしたことで疑問が明確に絞られ、エキスパート活動のグループ分けもスムーズにできました。調べ学習にも意欲的でした。

○2学期中から担任の先生とタブレット中心にするか図書中心にするか相談してきました。最終的に図鑑中心で調べをすることとし、先生の風船を使った子宮の様子の実演などの授業となりました。



中西小では、司書教諭、学校司書を中心に職員みなさんでこの事業に取り組んでおられました。この取組は、今後島根県立図書館ホームページからも見ることができま

学びのサポーターさんより



毎日一人でやってきて本を読んでいる子、友だちと競うように本を借りていく子、図書館では毎日いろいろな子どもたちいろいろな話をしながら楽しく過ごしました。私が楽しかったなあと思っているように子どもたちの思い出の中にも図書館は楽しかったなあ思い出してもらえようになればうれしいです。

子どもに薦めるために、図書館の本を少しずつ読んできました。大人にとっても感動する児童書ってたくさんあるのだなと今更ながら「物語」の力に驚かされます。「読む力」の種をまいてほしいです。

読書記録は1年生からの貸出記録なので、この子、この頃、このシリーズが好きだったな、など懐かしい気持ちになります。子どもたちの成長を喜ぶとともに、近づく卒業に寂しい気持ちもあり、毎年この時期は複雑な心境です。…最後まで読書を楽しんでもらいたいです。

特別支援学級1年生女子が来館した時、クラスのみんなに向けてのメッセージを書く課題を持ってきており、最初は何を書こうかなど悩んでいていろいろ話を聞く中で、「自分の気持ちをそのまま書いたらいいんじゃない。」と言うと「1年間優しくしてくれてありがとう。」と書きました。…本人が納得できてよかったです。



学びのサポーターさんの他に11校には学校図書館支援員さんがおられます。学校行事や活動に関係する図書の紹介や掲示をしたり、子どもたちの図書館での様子や読書傾向等を担当教員に伝えることで図書購入の支援をしたり、子どもたちの朝読書の様子を記録ノートで知ることにより児童理解に努めたり・・・、学校図書館から児童生徒の成長を見守ってくださっています。